

4/27-5/3#45勝利を得る初穂が従う小羊:1.啓示録
14:1~5は、勝利を得る初穂が従う小羊としてのキリストを啓示しています:A初穂は、生きている勝利者であって、彼らは神の畑で最初に熟した者となります。このゆえに、彼らは神と小羊への初穂として、収穫の前に刈り取られます。1初穂は天のシオンの山に、第三の天の神の住まいに取り去られて、神とキリストの臨在の中にいるようになります。2携え上げの意義は、主の臨在の中へともたらされることです。主の臨在の中へともたらされるために、私たちは今日、彼の臨在の中になければなりません。3携え上げは、敵を打ち破り、神を満足させるためです。主は、男の子が主の敵と戦うことを必要としています。それにもまして、彼はご自身の満足と享受のために、初穂を必要としています。啓14:1 また、私が見ていると、見よ、小羊がシオンの山の上に立っており、彼と共に十四万四千人がいて、小羊の名と彼の父の名がその額に記されていた。4これらの者は、女によって汚されていない者である。彼らは童貞である。これらの者は、小羊の行く所へはどこへでも従って行く。これらの者は、神と小羊への初穂として、人々の間から買い取られたのである。B聖書は、携え上げの二つの面を啓示しています。すなわち、大患難の前の勝利者の携え上げと、大患難の終わりの大多数の信者たちの携え上げを啓示しています。Cレビ記23:10で、携え上げの予表、すなわち畑で熟している作物の予表を見ます:1神の作物を刈り取ることは、私たちが携え上げと呼んでいるものです。この刈り取ることは、信者たちが地から取り去られることを示します。2作物の一部(初穂)は、早く熟して、早く刈り取られます。残りの作物(収穫物)は、後に熟して、後に刈り取られます。3啓示録14章によれば、二種類の携え上げ、すなわち初穂の携え上げと、収穫物の携え上げがあります。D初穂は神の新鮮な享受として、シオンにある神の家に携え上げられます。これは、神の満足のためです。E初穂は、小羊の名と彼の御父の名がその額に記されています。これは、彼らが小羊と御父と一であり、小羊と御父に属していることを表明しています。F初穂は、神の作物の中で最も早く円熟に達したものです:ヘブル6:1 こういうわけで、キリストの初歩的な言を後にして、...円熟にもたらされようではありませんか...エペソ4:13 ついに私たちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。1造り変えられるとは、私たちの天然の命において変えられることです。

円熟させられるとは、私たちを変え神聖な命で満たされることです。2神の表現のために、円熟する必要があります。円熟した命だけが、神のかたちを帯び、彼の統治権を行使することができます。II.私たちは小羊に従い、円熟へと前進して初穂となるために、信仰によって神と共に歩み、死を逃れ、神に喜ばれる証しを得なければなりません:A死を逃れ、神に喜ばれる証しを得る道は、神と共に歩むことです。1神と共に歩むとは、神を踏み越えないこと、傲慢にならないこと、自分の観念や願望にしたがって事を行なわないこと、時代の潮流にしたがって事を行なわないこと、神なしに何も行なわないことです。2神と共に歩むとは、神を私たちの中心またすべてとすることであり、神にしたがって、神と共に生き、事を行なうこと、すなわち、彼の啓示と導きにしたがって生き、事を行なうことであり、彼と共にすべてを行なうことです。3神と共に歩むことが意味するのは、私たちが何であるかによって、あるいは私たちが行なうことができることによって生きるのではなく、キリストご自身である不死の命によって生きるということです。4神と共に歩むとは、神との習慣的な交わりを持つこと、主との絶え間のない接触の中にあること、彼の絶え間のない注入の下にいます。5神と共に歩むとは、絶えず私たちの霊を活用して、ほめたたえられるべき三一を享受することです。6神と共に歩むことは、自己と自己に属するすべてを否んで、私たちが彼と一になることを暗示しています。それは、私たちが自分自身を彼にささげ、彼に抵抗しないで従い、彼にリードを取っていただくことを暗示しています。B神と共に歩むとは、信仰によって歩むことです:1信仰が意味するのは、「神は...である」ことを私たちが信じることです:a信仰がなくては、神を喜ばせ、神を幸いにすることはできません。ヘブル11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。というのは、神に進み出る者は、「神はある」ことを信じ、彼を熱心に尋ね求める者たちに報いてくださる方であることを、信じるはずだからです。b「神は...である」ことを信じることは、彼が私たちのすべてであって、私たちは無であることを信じることです。c「神は...である」ことを信じることは、私たちはないことを暗示します。すべてのことで、彼が唯一の方、唯一無二の方でなければならず、すべてのことで、私たちは無でなければなりません。d「神は...である」ことを信じることは、私たちの自己を否むことです。全宇宙で彼はあり、私たちはみな無です。ルカ9:23 ...だれでも私について来たいなら、自分を否み、日ごとに自分の十字架を負い、私に従って来

なさい。e 私は何かであってはなりません。私は存在すべきではありません。彼だけが存在すべきです。すなわち、もはや私ではなく、キリストです。f タルソのサウロが回心した時、主は彼に「私は...イエスである」と告げました。g これが信仰です。「ああ、何という喜び。何も持たず、無であり、栄光の中の生けるキリスト以外何も見ず、地上で彼の権益のほか何も顧慮しないことの喜び」。2 信仰が意味するのは、神が彼を熱心に尋ね求める者たちに報いてくださる方であることを、私たちが信じるということです：ヘブル11:5 信仰によって、エノクは死を見ないように移されました。神が彼を移してしまわれたので、彼は見えなくなりました。なぜなら、彼が移される前に、彼は神に喜ばれていたという証しを得たからです。c エノクは、携え上げられた最初の人として、生きている間に携え上げられるすべての勝利者の代表です。創5:24 エノクは神と共に歩み、神が彼を取られたので、彼はいなくなった。iii 私たちは小羊に従い、円熟へと前進し、初穂となるために、主の委託において忠信に奉仕し、神を食物として神の家族の者たちに与えなければなりません。それは私たちが来たるべき王国において、キリストを私たちの褒賞として勝ち取るためです：マタイ24:45 そこで、主人が家族の上に任命して、時に応じて彼らに食物を与える忠信で思慮深い奴隷は、だれであろうか？ 46 主人が来た時、そのように行っているのを見られる奴隷は幸いである。47 まことに、私はあなたがたに言う。主人は彼に自分の全財産を管理させるようになる。A 神は家庭、また家庭の行政、すなわちエコノミーを持っており、彼ご自身を食物として彼の家族の者たちに分与し、彼ご自身を表現させます。B 神は彼の家族の上に忠信で思慮深い奴隷たちを、家庭の管理者、執事、供給の経路として任命して、時に応じて彼の民に食物を与えるようにさせます。C 「彼らに食物を与える」とは、召会の中で、神の言葉とキリストを命の供給として信者たちに供給することを指しています。命を与える霊であるキリストは、私たちの食物であり、命の言葉の中で具体化され、実際化されています。1 主を私たちの霊的な食物として享受して、私たちが他の人を養うことができるようになるために、私たちは彼の言葉を用いて祈り、思い巡らして、注意深く考察することを通してそれを味わい、享受しなければなりません。2 私たちは祈りと言葉の務めに自分自身を専心させなければなりません。D 私たちが、心の中で私たちの主人は来るのが遅れると言うことは、今の邪悪な時代を愛し、主の出現を愛さないことです。1 私たちはどん欲に気をつけ

なければならず、自分のために宝を蓄えずに、神に対して富んでいなければなりません。2 「口の妻を思い出さなさい」は、この世を愛する信者たちに対する厳粛な警告です。3 私たちは目を覚まして祈り求めて、主の来臨の日が罨のように、突然私たちに襲いかかることがないようにしなければなりません。E 私たちの奴隷仲間を打ちたたくと、仲間の信者たちを虐待することです。1 私たちは自分の仲間の信者たちを裁いたり、罪定めしたりしてはならず、彼らに対して親切で情け深くあり、神がキリストにあつて私たちが赦してくださったように、彼らを赦さなければなりません。2 私たちは自分の兄弟たちをののしったり、批判したりしてはならず、彼らを自分自身よりすぐれていると思わなければなりません。a 兄弟をののしることは、攻撃的な言葉で荒々しく彼を批判したり、侮辱したりすることです。b ののしる言葉を聴く人は、ののしる言葉を語る人と同じ責任を負います。そのような言葉は、からだを損ないます。c 生まれつき他の人たちを批判するのが好きな人に、神は決して権威を託しません。3 私たちは自分の仲間の信者たちの上に権力を振るってはならず、奴隷として彼らに仕えて、命を与える霊である復活したキリストをもって彼らを養わなければなりません：マタイ20:27 あなたがたの間で第一になりたい者は、あなたがたの奴隷となりなさい。28 それは、人の子が来たのも、仕えられるためではなく、仕えるためであつて、多くの人の贖いの代価として自分の命を与えるためであるのと同じである」。1 ペテロ5:3 また割り当てられた人たちの上に、権力を振るうのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。a 人が聖徒たちの上に権力を振るうことが意味するのは、彼らに代わって決定し、彼らがどこに移住すべきかを告げることによって、生活の中で主に置き換わり、こうしてキリストの頭首権と主権を侮辱することです。b もし、私たちが他の人たちに、祈ったり、主の導きを尋ね求めたり、からだの中での正常な交わりを持ったりするように励まさないで、彼らの行くべき場所を彼らに告げるなら、これは、主に対する最大の侮辱です！ c 酔っぱらいどもと食べたり飲んだりするとは、この世的な事柄に酔いしれた、この世的な人々と交遊を持つことです。1 信者たちは神聖な性質と聖なる身分のゆえに、未信者たちと同じくびきにつながれるべきではありません。これは結婚や事業にだけでなく、信者と未信者の間のあらゆる親密な関係に適用されるべきです。2 私たちは若い時の欲から逃れ、純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、すべてを含むキリストを追い求めなければなりません。